

■2018年全国大会 オーガナイズドセッション

3月13日（火） / 13 March (Tue)

OS-J1：農業気象学的気候変動適応研究：現在位置、今後の課題・方向性

13:00-15:30, B会場

オーガナイザー：増富祐司（茨城大学），飯泉仁之直（農研機構），申龍熙（APEC）

OS-J1-1	日本における影響評価・適応研究のためのメッシュ気候シナリオデータセット群について	西森基貴, 石郷岡 康史, 桑形恒男, 遠藤伸彦, 飯泉 仁之直(農研機構・農環研)
OS-J1-2	アンサンブル気候予測データベースによるコシヒカリの品質に関する影響評価と適応シミュレーション	滝本貴弘(茨大), 富 祐司(茨大), 田村 誠(茨大)
OS-J1-3	北海道東部における気候変動時の最大土壌凍結深予測および牧草播種晩限日推定	井上 聡(農研機構), 牧野 司(道総研), 廣田知良(農研機構)
OS-J1-4	極端気象現象による重要穀物被害のグローバル評価	金 元植(農研機構), 飯泉 仁之直(農研機構), 西森基貴(農研機構)
OS-J1-5	インドネシアのイネの収量に対する気候変動の影響と適応策の評価	黄瀬佳之(山梨大), 増富祐司(茨城大), 塩津文隆(明治大), 小川田 大吉(日本工営), Martin Gomez Garcia(日本工営), 松村明子(日本工営), 高橋 潔(国環研), 福士謙介(東大)
OS-J1-6	気候変化への適応とレジリエンスにおける地元の役割	小林和彦(東大)
OS-J1-7	FAOの農業分野における途上国での気候変動適応支援:研究から政策へ	藤沢 茉莉子(FAO)

OS-J2：陸域生態系におけるフラックス研究

13:30-16:00, A会場

オーガナイザー：JapanFlux（平野高司，平田竜一）

OS-J2-1	風洞実験に基づく超音波風速温度計CSAT3の風速誤差補正と野外観測への適用	清水貴範(森林総研), 熊谷朝臣(東大), 萩野裕章(森林総研東北)
OS-J2-2	カラマツ林床のテルペン類放出速度の季節変化	望月智貴(静岡県大), 氏原萌子(静岡県大), 高橋善幸(国環研), 谷 晃(静岡県大)
OS-J2-3	土壌のN ₂ O生成速度と消失速度の分離	米村 正一郎, 岸本文紅, 片柳薫子(農研機構・農環研)
OS-J2-4	安定同位体比から紐解く水田メタンフラックスの日変化メカニズム	常田岳志(農研機構・農環セ), 林 健太郎(農研機構・農環セ), 梶浦雅子(農研機構・農環セ), 中島泰弘(農研機構・農環セ), 臼井靖浩(農研機構・北農研), 中村浩史(太陽計器), 酒井英光(農研機構・農環セ), 長谷川 利弘(農研機構・東北農研)
OS-J2-5	諏訪湖におけるメタンフラックスの時空間変動と制御要因	中澤琴美(信州大), 岩田拓記(信州大), 平田竜一(国環研), 高橋善幸(国環研), 宮原裕一(信州大)

OS-J2-6	微生物動態から群落フラックスまでを考慮した陸域生態系におけるメタン交換量のマルチスケール解析	松本有貴(大阪府大), 植山雅仁(大阪府大), 岡村幹太(大阪府大), 小南裕志(森林総研), 遠藤良輔(大阪府大), 徳本勇人(大阪府大), 平野高司(北大), 高木健太郎(北大), 小南靖弘(農研機構), 高橋善幸(国環研), 岩田拓記(信州大), 原菌芳信(大阪府大)
OS-J2-7	東アジア陸域におけるメタンフラックスのモデル推定と地域収支評価	伊藤昭彦(国環研)
OS-J2-8	AsiaFluxデータを利用した広域陸域CO ₂ フラックスの推定とその応用	市井和仁(千葉大), 植山雅仁(大阪府大), 近藤雅征(千葉大)

OS-J3：農業気象学の原点を探る

16:00-18:00, B会場

オーガナイザー：原菌芳信（アラスカ大学），皆川秀夫（北里大学）

OS-J3-1	鈴木清太郎の「青春の夢」～理論物理学の貢献～	皆川秀夫(北里大)
OS-J3-2	中谷宇吉郎と農業物理研究所－理念・理論と実学	広田知良(農研機構北農研)
OS-J3-3	大後美保と農業気象－気象台の貢献	根本 学(農研機構・北農研)
OS-J3-4	耕地気象, 施設環境研究の三原義秋, 「千年の森」への思い	小沢 聖(明大)
OS-J3-5	フラックス研究の萌芽と井上栄一や先達たちの導き	原菌芳信(大阪府大・名大太陽地球研)

3月15日（木） / 15 March (Thu)

OS-J4：領域気象モデルを活用した農業気象研究の展開

9:00-11:00, A会場

オーガナイザー：丸山篤志（農研機構 農業環境変動研究センター）

OS-J4-1	【基調講演】 領域気象モデルの発展と今後の課題－農業研究での利用可能性	日下博幸(筑波大学)
OS-J4-2	WRFを用いた農業気象警戒情報の作成と発信	柴田昇平(九沖農研)
OS-J4-3	領域気象モデルを用いた局地風の解析	佐々木 華織(農業環境センター)
OS-J4-4	メソ気象モデルWRFを利用したカンキツの寒害リスクのシミュレーション	大橋唯太(岡山理大), 植山秀紀(農研機構西日本農研)
OS-J4-5	WRFによる過去30年の気象庁全球数値予報モデルと同等データの作成	植山秀紀(農研機構), 日下博幸(筑波大), 佐々木華織(農研機構)
OS-J4-6	領域気象モデルによる農地の熱環境のシミュレーション－水田灌漑の影響評価	丸山篤志(農研機構 農業環境変動研究センター)
OS-J4-7	近年の関東域における土地利用変化が地上気温の変化に及ぼす影響の評価	鈴木 智恵子(JAMSTEC), 渡辺真吾(JAMSTEC), 丸山篤志(農研機構), 大野宏之(農研機構)
OS-J4-8	気象庁ヒートアイランド監視に用いる人工排熱量について	萱場 互起, 山下和也(気象庁)

企業OS-1 :

12:00-13:00, 休憩室

司会：安武大輔（九州大学）

12:00	新製品紹介 ～温故知新～	クリマテック株式会社
12:20	CRDS方式/NDIR方式ガスアナライザー, クロロフィル測定の見聞	三洋貿易株式会社
12:40	気象ビッグデータの活用で農業を元気に！	株式会社ハレックス

若手OS : 創立100周年に向けた若手研究者の国際連携

17:00-18:30, B会場

オーガナイザー：臼井靖浩（農研機構 北海道農業研究センター）

OS-Y-1	【Invited Speaker】 Establishing and applying temperature model of litchi flowering	Chen Po-An (Agricultural Technology Research Institute)
--------	--	---

3月16日（金） / 16 March (Fri)**企業OS-2 :**

12:00-13:00, 休憩室

司会：日高功太（農研機構九州沖縄農業研究センター）

12:00	誠和の取組	株式会社誠和
12:20	Campbell社新データロガーCR1000Xについて	太陽計器株式会社
12:40	新製品のご紹介	株式会社フィールドプロ

OS-J5 : 農業気象学と生物環境調節学の未来可能性

13:00-15:00, A会場

オーガナイザー：北野雅治（農業気象学会長），野並 浩（生物環境工学会長）

OS-J5-1	食料生産の広域でのモニタリングやモデリング, 予測は今後, どこに向かうか？	飯泉 仁之直(農研機構)
OS-J5-2	農耕地におけるフラックスの長期モニタリング:これまでの役割と今後の展望	小野圭介(農研機構 農環研)
OS-J5-3	作物栽培, 生物環境制御, ゲノム育種の視点から農業の温暖化適応の可能性を探る	熊谷悦史(農研機構東北農研)
OS-J5-4	作物生産の最適化に向けた個葉~群落スケールの熱・物質輸送プロセス研究とその展望	安武大輔(九大)
OS-J5-5	太陽光植物工場に実装される植物生体情報計測技術	高山 弘太郎(愛媛大院農)
OS-J5-6	人工光型植物工場は必要なのか？	松田 怜(東大)
OS-J5-7	制御環境下の細胞生理学的アプローチによる水稻高温障害の研究展望	和田博史(農研機構 九沖農研)